

きょうだいの日(Siblings Day)は、アメリカでは父の日、母の日のような一般的な記念日です。日本でも「きょうだいの日(シブリングデー)」が広がることで、病気や障がいのある子のきょうだいに応援が届く日にもなるようにと、啓発活動を続けています。

2021年の「きょうだいの日」企画は

- ①Zoom用のバーチャル背景配布
- ②オリジナルラベルのチョコを共同制作(2枚1組1,500セット！)
- ③きょうだいさんへのメッセージ動画をみんなで作りました。



シブブラックの提案で作ったZoomで使うバーチャル背景2種。隣の画面の方も一緒に使ってくださいと、レッドとブラックが糸電話でお話します。

きょうだいを応援する団体と個人23のメッセージをつないだ動画をCafé Aoba(医療的ケア児とその家族の集い)の原さんが作っていただきました。シブリングサポーターいわてさんつながりで、ドミノいわてさんも多大なご協力ありがとうございました。しぶたねYoutubeチャンネルで公開中です。

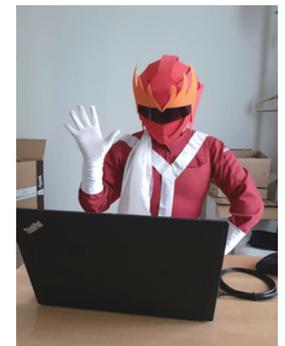


しぶたね information

第5号 2021年5月発行

いつもここにいるよ

新しい年度が始まりました。世界がすっかり変わってしまって、不安や緊張、がまんと共に頑張ってくれているきょうだいさんたちに、「ここはいつも同じだな」と感じてもらえる場所をつくりたいと思い続ける1年でした。大変な日々の中でも生き生きと成長している子どもたちの愛おしさ、同じ思いの全国の仲間とのつながりに支えられ、活動の火を灯し続けられたことに感謝でいっぱいです。子どもも頑張っていますが、大人も傷ついたり自分を奮い起こして頑張っていることが伝わってきます。子どもも大人も、しんどさも嬉しさも共有できる安心の中で、また1年、ご一緒によろしくお話をいたします。



ほめことば 100

ほめことば100プロジェクト

- ⑪ 輝いてるね
- ⑫ その発想はなかった!

アメリカ在住の方のブログで知った「ほめことば101(101WAYS TO PRAISE YOUR CHILD)」。さまざまな子ども向けのほめ言葉101個が一覧になったものが、マグネットシートなどになって、保育所などで配られているそうです。日本のほめことばにも、もっともっとバリエーションがあったらすてき☆ということで、目標100個、ほめことばを集めていけたらいいなあと、プチプロジェクトつくりました。うちの子こんなふうにはめてるよ!とか、こんなはどう?とか、ぜひぜひ教えてください。みんなでいいとこみつけ上手、ほめ上手になっちゃいましょう。(これまでのほめことばはしぶたねブログ「通信・ニュースター」のカテゴリーで紹介しています)

活動はご寄付や助成金等で支えられています。あたたかなお気持ちありがとうございます。

- <http://sibtane.com>
- facebook.com/sibtane
- @sibtane
- sibtane

ご支援メニューのページに飛びます。いつもありがとうございます! ございます!



2020年度も たくさん あそびました

4月

「きょうだいの日」100人で歌って踊ろイベント(Zoom)をニモカクラブさんと実施できたことで、オンラインであそぶ準備を始められました。助成やご寄付で活動をサポートされている団体の方が「子どもたちどうしてますか?できることありますか?」とご連絡やご寄付を届けてくださって、本当に心強かったです。

5月

きょうだいさんの1日の終わりに「今日もここにいてくれてありがとう」と「おやすみ」を言えたらいいなと、ゴールデンウィーク毎日夜8時から30分「シブレットのへやのとびらあけておくね(Zoom)」始めました。初日はきょうだいさん3人とお話できました。なんと毎日来てくれる子もいて、愛おしさが止まらず毎週金曜日に続けることにしました。



レッドのへやは、ただレッドとたねこ(理事長)がいるだけ。「1週間どうだった?」のおしゃべりから始まって、きょうだいさんのリクエストでなぞなぞが流行したり、買ったばかりのランドセルを見せてもらったり、悩みがあればみんなで考えたり、簡単なゲームをして笑ったり。最後は、5・4・3・2・1・おやすみ〜と言い合って終わります。だいたい10人くらいのきょうだいさんと過ごしています。

6月、7月

きょうだいさんたちに応援の気持ちが集まります。清水健さんが品薄になっていた子ども用マスクを寄贈くださった上に一緒に発送してくださいました。LUSHさんが寄贈くださったバスボムはきょうだいさんたちにわくわくのお風呂タイムをプレゼントしました。



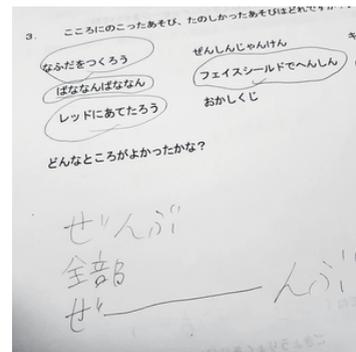
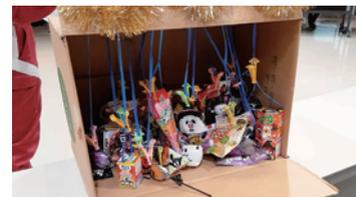
思うように活動できない寂しさやもどかしさは、大人の心も削ります。きょうだい支援をしている各地の仲間と「最近どう?」「オンラインのきょうだい会ってどんな感じ?」と、ゆるっと情報交換できる場があるといいなと月1回の「きょうだい支援ゆるゆる会議」も始めました。近況報告やあそびのアイデアを共有したり、コラボ企画も生まれました。

8月

オンラインにも慣れてきました。「中学生からのきょうだいさんの日」は、「栃木SHAMSさんと仙台ぱるげさんと一緒編」といつも通りの「ゆるゆる話そう編」の2回開催。名大病院きょうだいさんの会のオンライン企画にもレッドが登場しました。

9月、10月

「オンラインは苦手」「みんなと会いたい」というきょうだいさんの声にこたえて、10月の「きょうだいさんの日」は、たくさん相談し、準備して対面開催しました。「待ってたよ!」「久しぶりにわくわくする!」と来てくれたきょうだいさんたちのあふれる元気で可愛さ、ごほうびの1日をつくりたいと思う大人の気持ちが集まった空気は、どんなに換気しても満ちていました。2m離れてレッドに風船を当てるゲームや、距離を保った鬼ごっこ、フェイスシールドをデコって変身、お土産は2mのリボンでお菓子の千本引き!アンケートの「どんなところがよかった?」の質問に、「ぜんぶ全部ぜーんぶ」って書いてくれて、涙。



11月、12月

毎年きょうだいさんに送っているクリスマスカード。今年は材料を贈ってくださる「Amazonサンタさん」、カードの下準備をしてくださる「工場サンタさん」、病院などできょうだいさんにカードを渡してくださる「お届けサンタさん」の募集をSNSで呼びかけたところ、あっという間にたくさんのサンタさんが手を挙げてくださり、600人のきょうだいさんたちに可愛いウマカードを届けることができました。中学生以上のきょうだいさんたちもオンラインでお話しながら仕上げてください、しぶたねをたくさんの優しさが通っていきました。



12月恒例の駄菓子企画は今年も旭川大学短期大学部佐藤先生ゼミのみなさまからのご寄付をいただき、オンライン開催。ハウス型の段ボールとお菓子を事前に送って、画面の前に25人の子どもたちが集合!みんなそれぞれに個性あふれる駄菓子の家をつくってくれました。サンタ服で参加してくれた子、前日から設計図を書いて準備してくれた子、お菓子を買って足してスペシャルハウスを作り上げた子も。



2021年

1月、2月

2021年の1月1日は金曜日だったので、いつも通り「シブレットのへや」をあげました。きょうだいさんがたくさん「あけましておめでとう」を言いに来てくれて、オンラインならではの幸せなお正月でした。外に出づらい時にお家で楽しむようなゲームも紹介(みかん積み対決は4個詰めたら名人)。お絵かきしりとり中に宝物ももらいました。



3月

3月の「きょうだいさんの日」も対面開催できました!シブレットのへやから初めて来てくれたきょうだいさんも。その場風船ドッジボールや、風船おに、オリジナルボールペン/シャープペン作り、最後のお菓子すくい、お玉、トング、マジックハンド、好きな道具を選んで盛り上がりました。「あー、楽しかった!またねー」いつまでも見送ってしまいます。



お知らせ

① 2020年8月2日から9月末まで、支援者の立場の方、保護者の方、きょうだいの立場の方から、コロナ禍のきょうだいへの影響、必要と感じたサポート、できた工夫を教えていただくアンケートを実施しました。いただいた声はブログで公開していますので、きょうだいの安心を増やすこと、きょうだい支援の発展につなげていただけたら嬉しいです。



② 厚労科研「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究」のすみっこに、研究協力者として入れていただいていた。この3年間の集大成「きょうだい児支援取組事例集」が小慢自立支援事業のポータルサイトで公開され、全国の44のきょうだい支援を行う団体、6つの病院の取り組みが掲載されています。小慢自立支援事業の任意事業の中でも、きょうだい支援が各地で手をつないで進んで広がっていきますように。私たちもいっそう頑張りたいです。

④

2020 年度も、たくさん呼んで / 載せていただきました ✨



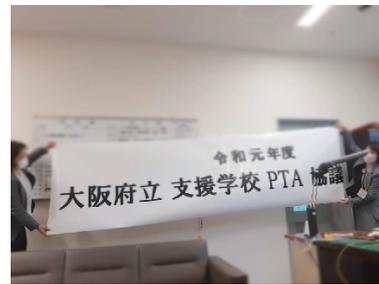
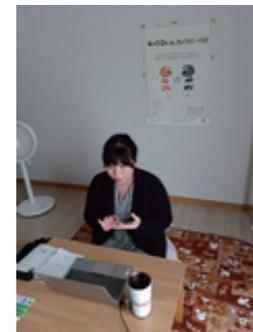
講演活動は36回でした

4月、コロナの影響で半年以上先まで講演の予定がすべてキャンセルになるスタートでしたが、後半からはオンラインの依頼も増え、ありがたいことに昨年度とあまり変わらない回数で呼んでいただけました。夏以降は大学の社会福祉士のオンライン実習にお声がけいただくことも増え、300人以上の学生さんがきょうだい支援について知ってくださいました。

へるす出版『小児看護』9月号(きょうだい支援特集)10月号(こどもホスピス特集)、三輪書店『地域リハビリテーション』、医学書院『訪問看護と介護』など、医療系の雑誌や、各地の新聞で、きょうだいさんたちの現状や活動について何度も取り上げていただき、また、大阪ガスのWeb上の「ガスてん」や、阪急阪神沿線を走る「SDGsトレイン」の吊り広告、阪急百貨店うめだ本店でのH2OサンタさんのNPOフェスティバル等のおかげで、今年度もたくさんの方に活動を目にいただけました。

ちゃぶ台と扇風機の事務所から学会に登壇できるふしぎ... →

大阪府立支援学校PTA協議会では初の研修配信にチャレンジしてくださいました。日本フィランソロピー協会の「誕生日寄付」では、同分野(支える人を支える)の寄付先団体コラボ企画で、がるすあるはさん、北海道こどもホスピスプロジェクトさんと共にミニセミナーを開催いただきました。2月にはじいろもびーるさん主催の生配信ライブイベント。静岡きょうだい会さん、SHAMSさんと共に、もみじの家の内多さんのおかげで、テレビ出演のような体験をさせていただくレッドでした。



2020 年度の支えていただいた記録。ありがとうございます!

武田薬品工業株式会社さまから募金と切手/一般財団法人H2Oサンタさまからご寄付/大阪ガスさまから「Webガスてん」と「Social Design+」を通してご寄付/株式会社グリーンテングライフさまからアニマルカレンダー/阪急阪神ホールディングスさまから切手とクリスマスツリーで作った鉛筆/LUSHさまからバスボム等/田辺三菱製薬株式会社さまからノートPC等/毎日新聞社会事業団さま「小児がん征圧募金」の贈呈先に/イオンスタイル四条躰さまでイエローシートキャンペーンお世話になりました/清水健さんが「きょうだいさんのための本②」の朗読動画を作成くださり、基金からもご寄付くださいました/他にもJAMMINコラボチャリティ、ちくちく会さんから可愛いクリスマスプレゼント、バレンタインドネーション、可愛い切手や文房具など、個人の方、団体の方、そしてAmazonほしいものリストのサンタさんにたくさん支えていただきました。

⑤

シブリングサポーター 研修ワークショップ

サポーターさん
合計913名に
なりました!



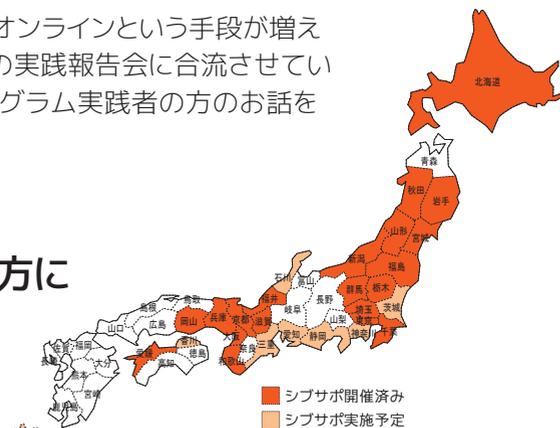
2020年度のシブサポは、麒麟福祉財団「麒麟・福祉のちから開拓事業」助成で応援いただき、大阪第5期、京都府(京都こどもきょうだい会えるもさん)、山形県(社会福祉法人愛泉会 天花さん)、埼玉県(ニモカカクラブさん)で、計4回開催できました。大阪以外はドキドキのオンラインでしたが、受け入れ先の方々と参加者のみなさまにたすけていただき今年度輪に加わってくださったサポーターさんは97名。20都道府県、900人を超えました。

4回目になったシブサポミーティングは、オンラインという手段が増えたことで、「きょうだい支援を広める会」の実践報告会に合流させていただき、日本とアメリカのきょうだいプログラム実践者の方のお話を聞ける貴重な機会になりました。

研修開催を検討してくださる方に リーフレットもできました



株式会社ガ/ハの林田さんと芝田さんに作っていただきました! しぶたねホームページから印刷できます。基本のシブサポ研修は、オンラインにも対応しています。「きょうだいさんの日」を体験していただくプログラムができない代わりに、オンラインでできるゲームを30分ほどご紹介するおまけタイムを追加できます。



「きょうだい支援ゆるゆる会議」も続いています。こちらでもサポーターのみなさまと情報交換できれば嬉しいです。

シブパネル すすんでいます



「シブパネル」は病気や障がいのある方のきょうだい(シブリング)によるパネルトークです。米国シブショップファシリテータートレーニング内で行われている「Panel of Adult Siblings」を参考に、登壇してくれるきょうだいの心を守りながら、きょうだい支援の広がりにつなげていくために工夫できることを考えようと始めた新規事業は、「2019年度ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」で助成いただき、各地のきょうだいとアドバイザーの先生と相談しながら、8月大阪、11月東京、と2回試行し、ガイドラインの暫定版を作りました。しぶたねブログで公開中です(右上のQRコードから)。

2年目の継続助成にも採択していただきました! → 大切なきょうだい仲間たちから、体験談を話した帰り道、むなしさ、もやもや、不安、ぐるぐる、言葉にできない様々な気持ちが溢れて1人で泣いたお話を聞いています。ヤングケアラーに光が当たるようになり、きょうだいたちへの取材や体験談を話す場の依頼も増えていく今、大切な気持ちと経験を伝えてもらう場をもっと丁寧に考えたいという提案を広げたいです。



応援会員さん募集してます

きょうだい支援の活動をより安定させ、ひろげていくために、資金で活動を応援して下さる会員さんを募集しております。活動の継続のために、さまざまなアイデアを形にしていくために、どうぞたねまき仲間になってください。

- 個人応援会員さん 1口3,000円~/年
- 団体会員(シブチーム会員)さん 1口10,000円/年
- マンスリー応援会員さん 1か月500円~

- ・通信(年1回発行予定)と、メンバーズステッカーを送らせていただきます。
 - ・会員は年度(4月1日から翌年3月31日)更新とさせていただきます。
- 詳細はしぶたねホームページの「応援する」メニューからお願いいたします。

